

令和 2年度 事務事業評価シート (令和 1年度分)

(令和 2年 7月 作成)

1 事務事業の基本事項				整理番号	244000-01-06
事務事業名	中心市街地活性化関係事業			担当部課	環境経済部 商工観光課
				電話番号	04-2964-1111 内線 4251
総合計画 基本計画	施策の大綱	05	活気に満ちたまちづくり	実施期間	平成15年 ~ 年
	政策(節)	02	商工業の振興		
	施策(項)	01	活動支援の推進	その他の計画	
予算事業名	TMO活動・中心市街地活性化事業補助金			予算事業番号	1425・1427
事務分類	<input type="checkbox"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務のうち任意のもの <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> サービス提供 <input type="checkbox"/> 施設整備 <input type="checkbox"/> 許認可事務 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 内部事務 <input type="checkbox"/> その他				
	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業開始の背景・経緯	入間市では売場面積が1,000㎡を超える大規模小売店舗が平成15年頃から急増し、加えて近年の経済の減速状況や経営者の高齢化、後継者不足などが相俟って地域商業の衰退が進行し、また、中心市街地の活性化が求められたことから、平成14年度末にはまちづくり機関であるTMOが認定され中心市街地の活性化に取り組むこととなった。現在は賑わい創出のためのソフト事業に対して支援を行っている。				

2 事務事業の目的・内容

対象	中心市街地区域（アポポ商店街・町屋通り商店街）	実施の根拠 (法令・条例等)	茶の都いるま商工業振興補助金交付要綱
目的 (もたらそうとする成果)	入間市の玄関口である入間市駅南口周辺地域を核とした中心市街地（アポポ商店街・町屋通り商店街）の活性化を実現し、商業振興を図ることを目的とする。		
全体の事業内容	入間市商工会に対して、TMO（中心市街地まちづくり組織）活動推進事業費を補助する。		

3 事務事業の実施状況と成果

令和 1年度の 実施内容	TMO活動推進費補助金により、入間市商工会が推進・調整役となって「開運きのえね市」、「雛飾り」が実施された。								
区分	活動指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)	
実施 状況	① TMO活動推進費 補助金	目標値又は 前年度値	円	1,350,000	1,350,000	1,350,000	1,350,000	当初予算額	
		実績値	円	1,350,000	1,350,000	1,350,000			
		達成率又は 前年度比	%	100	100	100			
	② 駿大ふれあいハウ ス運営費補助金	目標値又は 前年度値	円	1,200,000	0	0	0	当初予算額（平成27年度～要綱名称変更） 平成29年度については 中心市街地活性化事業補助金	
		実績値	円	1,200,000	0	0			
		達成率又は 前年度比	%	100					
	③	目標値又は 前年度値							
		実績値							
		達成率又は 前年度比	%						
	④	目標値又は 前年度値							
		実績値							
		達成率又は 前年度比	%						
区分	成果指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)	
成果	① きのえね市スタン プラリー参加者数 (満点台紙数)	目標値又は 前年度値	人	130	130	100	100	目標目安	
		実績値	人	110	96	60			
		達成率又は 前年度比	%	84.62	73.85	60			
	②	目標値又は 前年度値							
		実績値							
		達成率又は 前年度比	%						

※印は実績値の減少によって達成率が向上するもの

4 事業費

区 分			平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	
経 費	事業費	当初予算額	2,550 千円	1,350 千円	1,350 千円	0 千円	
		決算(見込)額 ①	2,550 千円	1,350 千円	1,350 千円		
	人件費	従事 職員数	一般職・労務職	0.13 人	0.14 人	0.16 人	
			嘱託・再任用	0 人	0 人	0 人	
			パート等	0 人	0 人	0 人	
		人件費 ②	1,238 千円	1,299 千円	1,452 千円		
	総事業費 ③=①+②		3,788 千円	2,649 千円	2,802 千円		
	国・県支出金 ④		0 千円	0 千円	0 千円		
	その他特定財源 ⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
	特定財源 ⑥=④+⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
入間市年間負担額 ③-⑥		3,788 千円	2,649 千円	2,802 千円			
効率性 指 標	指標名	スタンプラリー参加者 ⑦	110 人	96 人	85 人		
	コスト	1人当たり ③÷⑦	34,436 円	27,593 円	32,964 円		
備 考							

5 事務事業の評価

◆1次評価

個別評価	必要性	有効性	効率性
	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効である <input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> やや向上 <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> やや悪化 <input type="checkbox"/> 悪化
総合的 評価	評 価		今 後 の 方 向 性
	「開運きのえね市」は地域資源を活用した事業であり、運営主体も市民が主体となっている。今年度は地元商店街のイベントに出店し、アピールするなどの新しい取り組みも始めている。「雛飾り」も地区の幼稚園と協力し、商店街内の協力店舗に掲示するなどし、商店街を回遊する取り組みを実施しており、有効と評価する。		<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
改善 課題	令和 1年度の取り組み課題		改 善 の 評 価
	スタンプラリー達成者は減少しているが、これは企画内容を変更したことが要因であるため、一概に目標を達成していないとは言いきれない。事業内容については、マンネリ化しない事業を考えていく必要がある。		<input checked="" type="checkbox"/> 改善できた <input type="checkbox"/> やや改善できた <input type="checkbox"/> 改善できなかった
	令和 2年度の取り組み課題		
スタンプラリーだけでなく、中心市街地内で行われたイベント等に参加し、アトラクションを運営するなど、マンネリ化からの脱却をより進めていく。			
令和 3年度の取り組み課題			
さらに事業を充実させていくとともに、安定的に運営できる組織づくりや事務局の負担軽減を図っていく。			

◆2次評価

総合的 評価	今後の方向性	具体的内容
	<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止	マンネリ化を防ぐ努力をしながら実施したイベント等が、地域の賑わいにつながったことは評価できる。今後は地域と一体となったコミュニティづくりや商店街の活性化、商店街を担う人材育成の強化を促進する必要がある。さらに、入間市の玄関口である地域一帯の活性化に向け、入間市駅前側留保地整備の進展に合わせて一体的な商業活性化策を検討するなど、事業全体のあり方を再検討する必要がある。